

令和7年度養殖技術ブレイクスルー促進事業業務委託
公募型プロポーザル参加資格の資格審査要件

(審査事項)

次の項目により審査するものとする。ただし、これを下回る項目がある場合については別途審査のうえ判断する。

(1) 年間売上高

企業の規模と比較し極端に低い場合は、必要に応じて追加資料の徴求やヒアリングにより事業を実施可能か確認する。

(2) 営業年数

1年以上の営業実績をチェックする(原則として1年未満は不可。ただし、法人税法における公法人、公益法人等及び協同組合等は除く)

(3) 財務比率

・純利益率

純利益率とは、収益性分析の一指標で、純利益の売上に対する構成比を表す指標である。純利益率のパーセンテージが高いほど、その企業の収益性が高い事を表す。

マイナスの場合、必要に応じて追加資料の徴求やヒアリングによる事業を確実に実施か確認する。

$$\text{純利益率} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$$

・固定長期適合率

企業の財務的安全性を示す。固定資産を調達するための資金を、純資産(自己資本)と長期借入金でどの程度まかなっているかを見る。

数字が低いほど良い。一般に75%未満が適当とされる。(100%以下であれば問題ない)

この数字が100%を超えている場合は、固定資産の調達に必要な資金が、純資産と固定負債では足りず、短期借入金まで使っていることを意味する。

$$\text{固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{純資産(自己資本)} + \text{固定負債}}$$

・流動比率

企業の財務的安全性を示す。短期的な支払能力をパーセンテージで示したもの。

流動資産によって流動負債をどの程度返済可能かを見る。

一般的にこの数字が200%以上望ましいとされるが、150%以上であれば問題ないとされる。

100%以下は資金繰りに余裕がない。

望ましい流動比率の水準は120%であるといわれているが、低い場合でも金融機関の支援がしっかりしているような場合には、大きな問題はないといわれる。

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$$

固定資産・・・長年にわたって使用、保有することができる資産

純資産(自己資本)・・・会社の利益の積み上げと、投資家から集めた資金

固定負債・・・1年を超えて支払いの義務が発生する負債

流動資産・・・1年以内に現金化される予定の資産

流動負債・・・1年以内に返済を要する負債